USB メモリアダプタ

MAUSB-500

取扱説明書

はじめに

このUSBメモリアダプタMAUSB-500（以下本機）は、**xD-ピクチャーカード™**（以下**カード**）専用のメモリアダプタです。カードに記録された大容量データを、USBポートを装備したパソコンへ、簡単かつ高速に転送することができます。
ご使用になる前に、必ず本書と別紙「スタートガイド」をよくお読みください。
なお、本書はパソコン本体やOSの基本的な操作が可能であることを前提としております。パソコン本体、他に接続する周辺機器、OSなどのソフトウェアにつきましては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

◆主な特長◆

●xD-ピクチャーカードに対応
xD-ピクチャーカード対応のデジタルカメラ等で撮影した画像をパソコンに転送できます。

●USB2.0インターフェース、USBマスストレージクラスに対応
高速USB2.0インターフェースを採用。従来のUSB1.1に比べ、より高速なデータの転送が可能です。*
また、デバイスドライバをインストールしなくても、パソコンに接続するだけでxD-ピクチャーカードをリムーバブルディスクとして認識するので、パソコン上で即座に画像を見たり、画像データをパソコンに転送したり、パソコンからのデータをカードに書き込むことができます。

●ホットプラグ、USBバスパワー対応
ホットプラグに対応しているので、パソコンの電源を入れたままで本機の取り付け・取り外しが容易にできます。また、USBインターフェースを通じて接続したパソコンから電源が供給されるので、AC電源など特別な電源は必要ありません。

●小型軽量スティックタイプ

●WindowsとMacintoshの両OSに対応

*USB2.0に対応したパソコンが必要です。対応していないパソコンでお使いの場合は、USB1.1のみの対応となります。

◆本書をお読みになる前に◆

●本書の内容については、改善のため予告なしに変更することがあります。
●本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらお手数でもカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
●本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。また、無断転載は固くお断りします。
●本機の不適当な使用による、万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
●本機の故障、パソコンの故障およびトラブル、オリンパス指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

◆電波障害自主規制について◆

●本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
●取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
●この装置を接続する際、市販のUSB延長ケーブルを使用されると、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。その場合はこの装置をパソコン本体のUSBポートに直接接続してご使用ください。

◆商標について◆

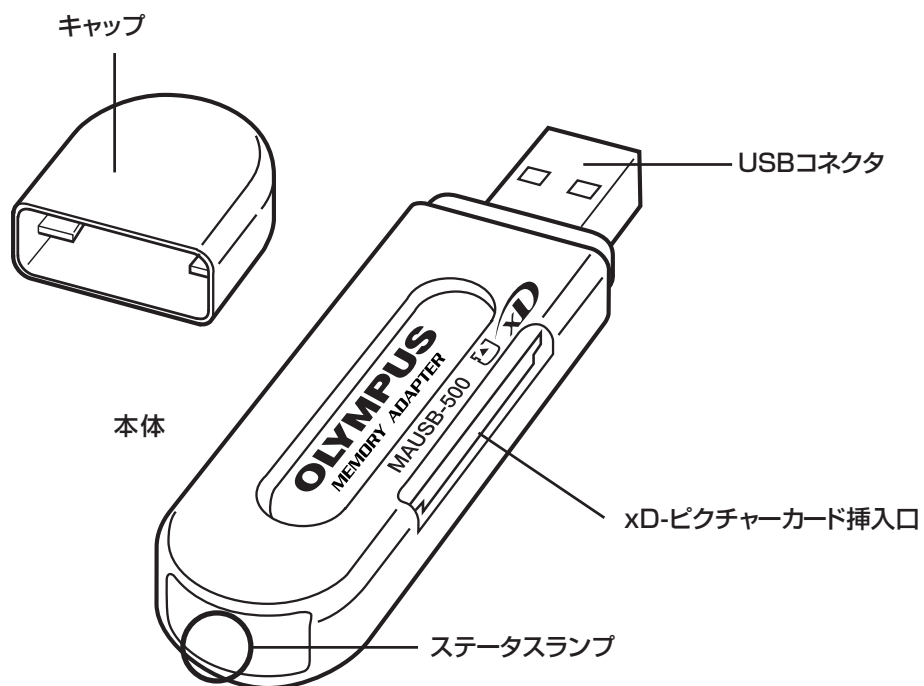
●Microsoft, Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
●Apple, Mac, Macintosh, Mac OSはApple, Inc.の商標です。
●xD-Picture Card™およびその他の社名、商品名称などは、日本およびその他の国における各社の登録商標または商標です。

目　次

付属品を確認しましょう

MAUSB-500（本体とキャップ）

スタートガイド

各部の名称

導入する前に

◆動作環境◆

本機をお使いになる前に、ご使用のパソコンが以下の条件を満たしているかご確認ください。

●対応OS

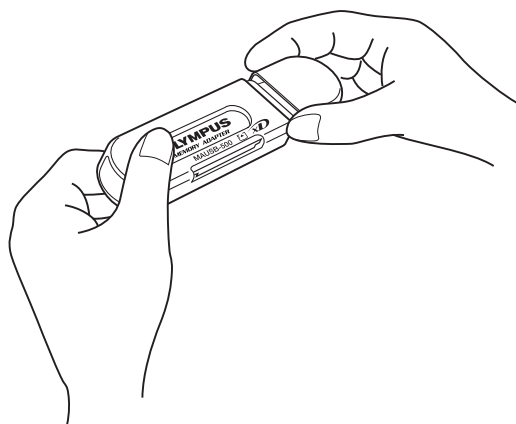
Windows 2000 Professional（以下Windows 2000）、Windows XP、Windows Vistaのプレインストール版
Mac OS 9.0～9.2、Mac OS X（V10.1 ～ 10.4）のプレインストール版

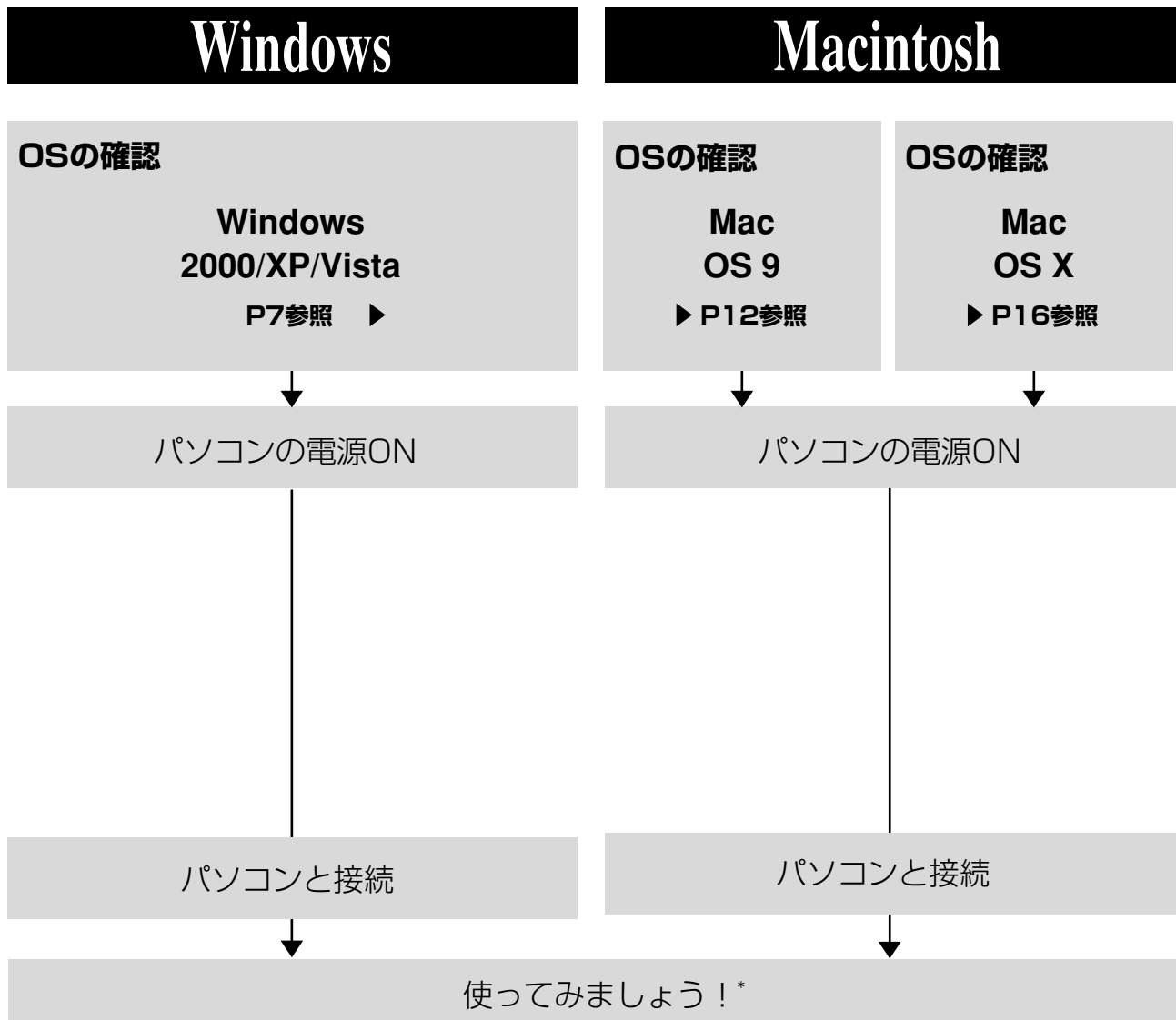
●USBインターフェース（USB Ver.2.0またはUSB Ver.1.1準拠）を標準搭載していること

◆使用可能なカード◆

xD-ピクチャーカード
16MB/32MB/64MB/128MB/256MB/512MB/1GB/2GBの3.3V製品

◆ご注意◆

●本機は、パソコン側のUSBポートの周りに十分な取り付けスペースがあることをご確認のうえご使用ください。無理に取り付けた場合、本機やUSBポートを破損する恐れがあります。
●ご使用のパソコンのハードウェア、デバイスドライバ、アプリケーションなどの環境条件によっては、本機が正常に動作しない場合があります。
●USBハブ、キーボード、ディスプレイのUSBポートに接続すると使用できないことがあります。その場合は、パソコン本体のUSBポートに直接接続してください。
●Windows95/NT4.0/NT3.51から2000へのアップグレード環境では動作しないことがあります。その場合はOSの新規インストールを行ってご使用ください。
●ステータスランプの点滅中にカードを引き出したり、本機を引き抜いたりした場合、カード内のデータが破壊され、カードが使用できなくなることがあります。
●ご使用になるカードは、デジタルカメラ側で定期的にフォーマットを行ってください。パソコン側から本機内のカードのフォーマットを行った場合、デジタルカメラ側で認識されないことがあります。カメラ側でのフォーマット操作については、カメラの取扱説明書をご覧ください。
お使いのカメラ以外でフォーマットされたカードが、カメラ側で認識されない場合は、お使いのカメラで再度フォーマットしてください。(フォーマット形式がDOS以外となるカメラでフォーマットされたカードは、本機では認識できません。)
●パソコンの省電力機能には対応しておりません。ご使用の前にパソコンの省電力機能を無効にしてください。
●本機を同時に2台以上接続してのご使用はできません。
●キャップを取り付ける場合は、キャップの表と本体の表を合わせて差し込んでください。

◆導入の手順◆

ご使用のパソコンによって導入時の手順が異なります。ご使用のパソコンおよびOSをご確認の上、次の手順で進めてください。

*各OSでの「操作方法」をご参照ください。

Windows 2000/XP/Vista

導入の手順

作業の際は、必ずパソコンと周辺機器の取扱説明書もご参照ください。

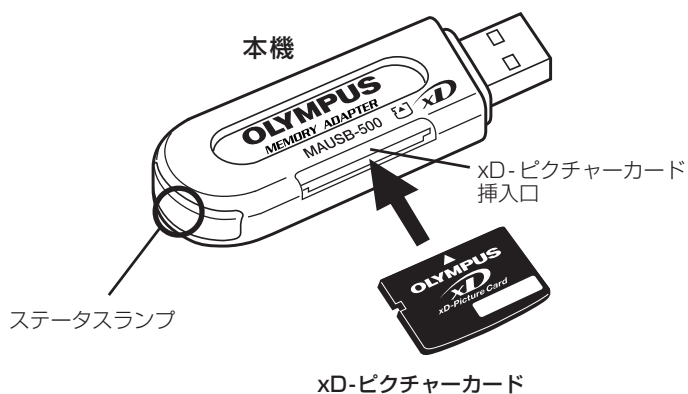
1　パソコンの電源を入れます　< 2000/XP/Vista ◆導入 >

パソコン（およびモニタなど）の電源を入れて、Windows 2000/XP/Vista を起動します。

操作方法

Windows 2000/XP/Vista での操作方法は次の通りです。

1　カードを入れます　< 2000/XP/Vista ◆操作 >

本機にカードを入れます。
カードの接触面（金色）を**下**に向けて、カードをxD-ピクチャーカード挿入口に水平に奥までしっかり挿入します。

ご注意

- カードを挿入するときはカードの向きに注意してください。
- カードはxD-ピクチャーカード挿入口に水平になるよう正しく挿入してください。誤った角度で無理に押し込んだ場合、本機やカードを破損する恐れがあります。

2　パソコンと接続します　<2000/XP/Vista◆操作>

パソコンのUSBポートと本機のUSBコネクタを接続します（パソコンを使用中でも接続することができます）。

ご注意

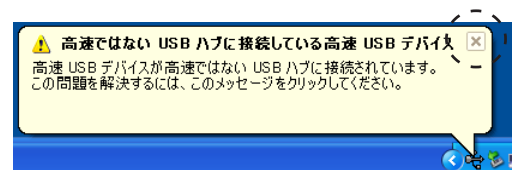
- パソコンと接続する前に、USBポート周辺に十分な取り付けスペースがあることをご確認ください。
  無理に取り付けた場合、本機やUSBポートを破損する恐れがあります。
- コネクタの向きを間違えないように接続してください(下図参照)。誤った向きで無理に接続した場合、コネクタ、USBポートを破損する恐れがあります。
- コネクタは奥までしっかりと差し込んでください。

【ステータスランプについて】

ランプの点灯 ： 本機がパソコンに接続され、使用可能な状態。
ランプの点滅 ： カードにアクセス（読み書き）しているとき。
ランプの消灯 ： 本機にカードが入っていないとき、または、[ハードウェアの安全な取り外し]を行ったとき。
点灯後に消灯 ： カードが正しく認識されていないとき。

- ランプの点滅中にカードを引き出したり、本機を引き抜いたりすると、カード内のデータが破壊される恐れがあります。
- カードが正しく認識されない場合には、ランプが点灯しないか、点灯後に消灯します。このような場合には、カードを本機から引き出し、接触面（金色）を乾いた布で拭いた後、もう一度挿入してください。それでも認識されない場合は、カードが破損している可能性があります。

初めてパソコンに接続したとき

Windows XP 環境でUSBポートが USB1.1 の場合、本機を接続すると下図のようなメッセージが表示されますが、問題はありません。[X] をクリックしてメッセージを閉じてください。

カードを入れてパソコンに接続するとステータスランプが点灯し、本機がリムーバブルディスクとして認識されます(カードを入れずに接続するとステータスランプは点灯しませんが、本機はリムーバブルディスクとして認識されます)。
デスクトップ上の［マイコンピュータ］を開き、［リムーバブルディスク］アイコンが追加されていることをご確認ください。

ご注意

お使いのパソコンの周辺機器の接続状況によって、本機に割り当てられるドライブ記号が異なります。本機の接続後は、必ずリムーバブルディスクがどのドライブ記号に割り当てられているかをご確認ください。

接続前

▶

接続後

画面はリムーバブルディスクがＨのドライブの場合です。
ドライブ記号（[H:]、[I:]など）は、ご使用のパソコンおよび接続されている周辺機器などによって異なります。

3　パソコンから取り外します　＜2000/XP/Vista◆操作＞

本機をパソコンから取り外す前に、カード内のデータを表示するソフトウェア（エクスプローラ、画像表示ソフトなど）を終了し、次の手順で操作してください。
本機の取り外しは、パソコンの電源が入ったままで行うことができます。（電源のOFF、再起動、スリープ状態にする必要はありません。）

1. タスクバーにある[ハードウェアの安全な取り外し] アイコンを**左クリック**します。

- [ハードウェアの安全な取り外し]は、お使いの環境によって表記が異なる場合があります。

[ハードウェアの安全な取り外し]

2. タスクバー上部に [USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ(H:) を安全に取り外します] が表示されます。表示ウィンドウをクリックします。

- ドライブ記号(H:)はお使いのパソコンによって異なります。

画面はリムーバブルディスクがHドライブの場合です。

3. ステータスランプが**消えている**ことを確認し、[OK] をクリックします。

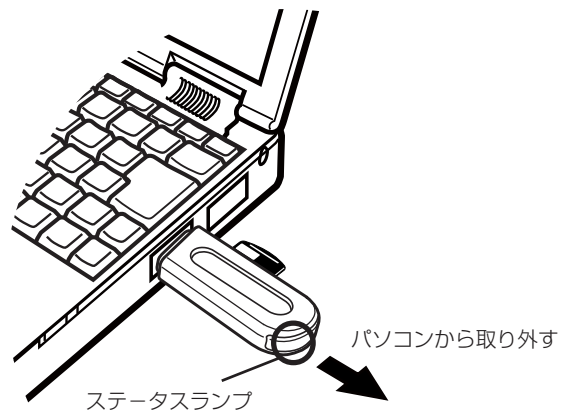
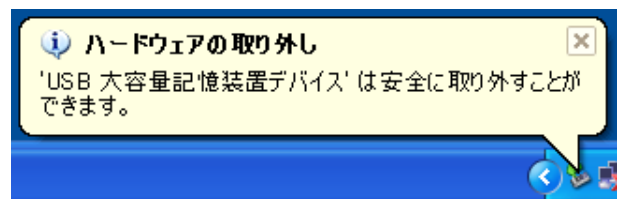
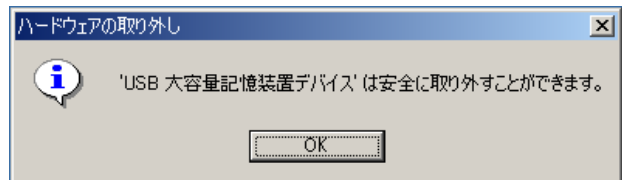
- Windows　XP はバルーンヘルプ上に表示されます。

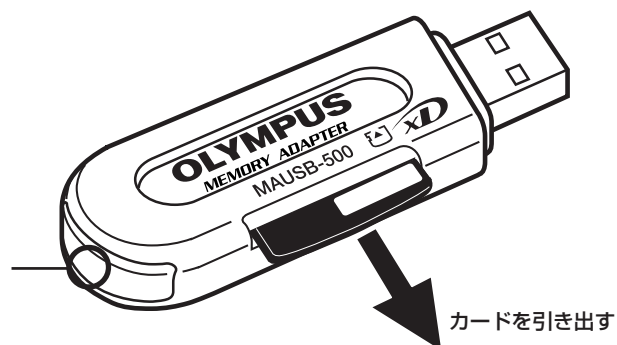
以上でパソコンから本機を取り外すための準備が完了しました。

4. 本機をパソコンのUSBポートから引き抜きます。

パソコンから取り外す

ステータスランプ

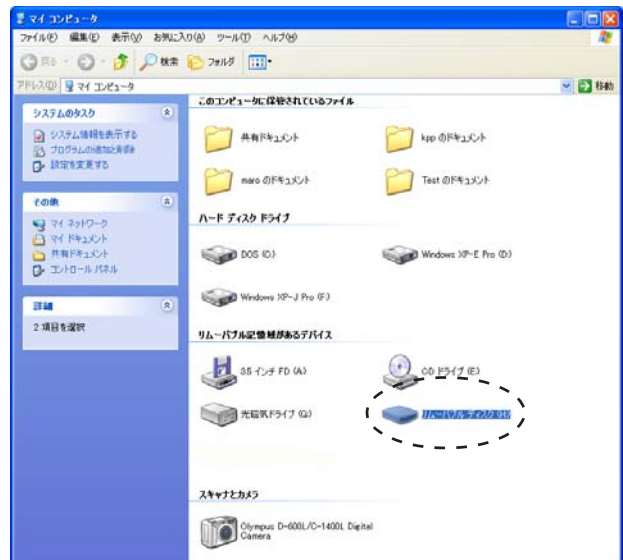
> **ご注意**
> - ステータスランプの点滅中にカードを引き出したり、本機をパソコンから引き抜くことは絶対にしないでください。カード内のデータやカードを破壊したり、パソコンが停止する恐れがあります。

4　カードを取り出します　＜2000/XP/Vista◆操作＞

カードを矢印方向に手で引き出します。

5　ファイルのコピー　＜2000/XP/Vista◆操作＞

1. パソコンのUSBポートに、カードを入れた本機を接続します。

2. デスクトップ上の［マイコンピュータ］を**ダブルクリック**します。

3. カードの［リムーバブルディスク］アイコンを**ダブルクリック**してコピー元のデータを表示します。

   - ［リムーバブルディスク］アイコンをダブルクリックすると、挿入されているカードのディレクトリや画像ファイルの一覧を確認することができます。

画面はリムーバブルディスクがHのドライブの場合です。
ドライブ記号（[H:]、[I:]など）は、ご使用のパソコンおよび接続されている周辺機器などによって異なります。

4. コピーしたいファイルをコピー先のフォルダに**ドラッグ＆ドロップ**してください。

   - ファイルを他のフォルダへ移動したり、削除したり、他のフォルダから書き込むこともできます。

コピー元のデータ

ドラッグ＆ドロップについて
マウスボタンでアイコンを選択したままマウスを移動させ（ドラッグ）、移動先、コピー先でマウスボタンを離す（ドロップ）ことをいいます。

6　フォーマットについて　＜2000/XP/Vista◆操作＞

ご注意

- **ご使用になるカードは、デジタルカメラ側で定期的にフォーマットを行ってください。パソコン側から本機内のカードのフォーマットを行った場合、デジタルカメラ側で認識されないことがあります。カメラ側でのフォーマット操作については、カメラの取扱説明書をご覧ください。**
  お使いのカメラ以外でフォーマットされたカードが、カメラ側で認識されない場合は、お使いのカメラで再度フォーマットしてください。(フォーマット形式がDOS以外となるカメラでフォーマットされたカードは、本機では認識できません。)

【フォーマットを行う前に】

- カードを再度フォーマットする場合は、カード内に必要なデータがないことを、必ず事前に確認する。**フォーマットを行なった場合、元のデータは使えなくなります。**

Mac OS 9

導入の手順

作業の際は必ずパソコンと周辺機器の取扱説明書もご参照ください。

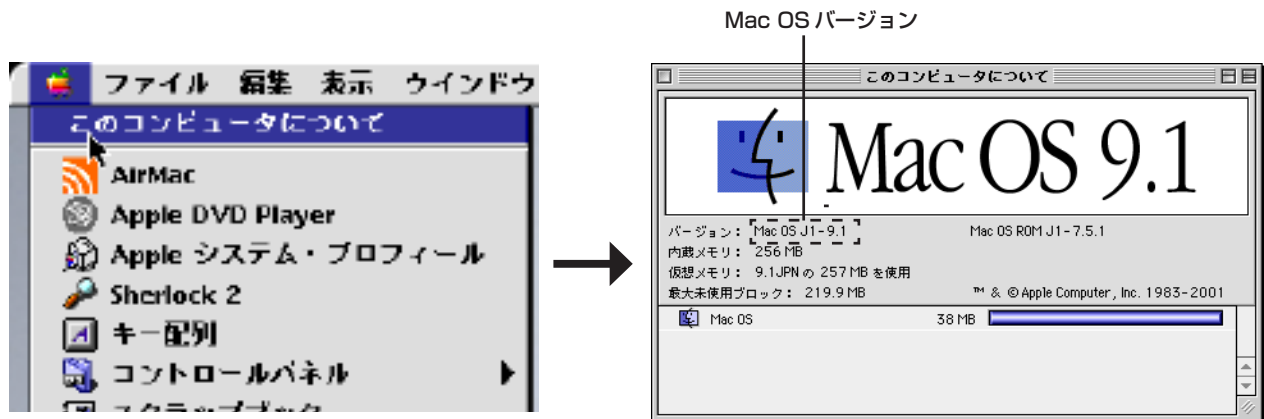
1　パソコンの電源を入れます　< Mac OS 9 ◆導入 >

パソコン（およびモニタなど）の電源を入れて、Mac OS を起動します。

ご注意

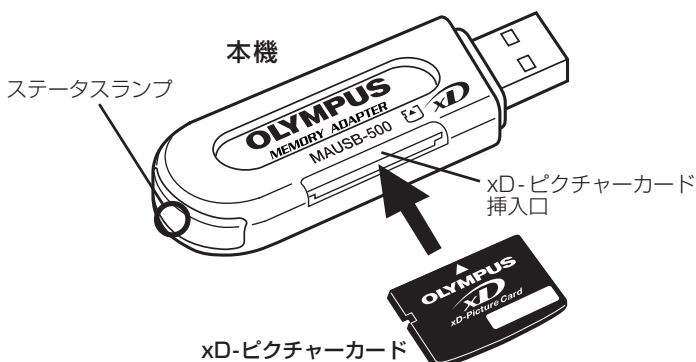
- DOS/Windows フォーマットのxD-ピクチャーカード、デジタルカメラでご使用のxD-ピクチャーカードをお使いいただくには、Mac OS 付属の［File Exchange］が必要です。Apple メニューから［コントロールパネル］を選択し、［File Exchange］がインストールされているかご確認ください。（［File Exchange］に関する詳細は Mac OS のヘルプをご覧ください。）
- ご使用のパソコンによって画面表示が異なる場合があります。

【Mac OS のバージョン確認方法】

アップルメニューから［このコンピュータについて］を選択し、Mac OS バージョンを確認します。

操作方法

Mac OS 9 での操作方法は次の通りです。

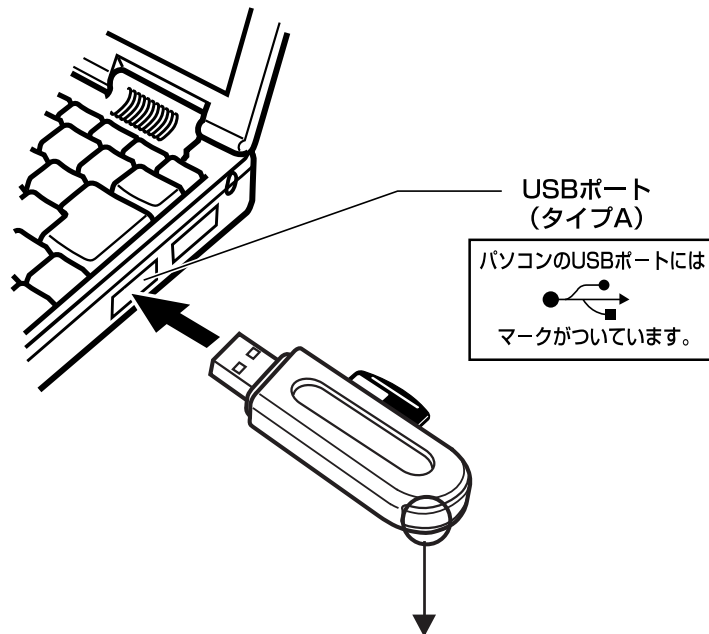
1　カードを入れます　< Mac OS 9 ◆操作 >

本機にカードを入れます。
カードの接触面（金色）を下に向けて、カードをxD-ピクチャーカード挿入口に水平に奥までしっかり挿入します。

ご注意

- カードを挿入するときはカードの向きに注意してください。
- カードはxD-ピクチャーカード挿入口に水平になるよう正しく挿入してください。誤った角度で無理に押し込んだ場合、本機やカードを破損する恐れがあります。

パソコンのUSBポートと本機のUSBコネクタを接続します（パソコンを使用中でも接続することができます）。

ご注意

- パソコンと接続する前に、USBポート周辺に十分な取り付けスペースがあることをご確認ください。無理に取り付けた場合、本機やUSBポートを破損する恐れがあります。
- コネクタの向きを間違えないように接続してください(下図参照)。誤った向きで無理に接続した場合、コネクタ、USBポートを破損する恐れがあります。
- コネクタは奥までしっかりと差し込んでください。

【ステータスランプについて】
ランプの点灯 ： 本機がパソコンに接続され、使用可能な状態。
ランプの点滅 ： カードにアクセス（読み書き）しているとき。
ランプの消灯 ： 本機にカードが入っていないとき。
点灯後に消灯 ： カードが正しく認識されていないとき。

- ランプの点滅中にカードを引き出したり、本機を引き抜いたりすると、カード内のデータが破壊される恐れがあります。
- カードが正しく認識されない場合には、ランプが点灯しないか、点灯後に消灯します。このような場合には、カードを本機から引き出し、接触面（金色）を乾いた布で拭いた後、もう一度挿入してください。それでも認識されない場合は、カードが破損している可能性があります。

【カードが正しく認識されているとき】
カードが正しく挿入され本機がパソコンで認識されると、ステータスランプが点灯し、右のアイコンが表示されます。

- 表示されるカードアイコンの名称は、挿入するカードによって異なります。

3　パソコンから取り外します　＜Mac OS 9◆操作＞

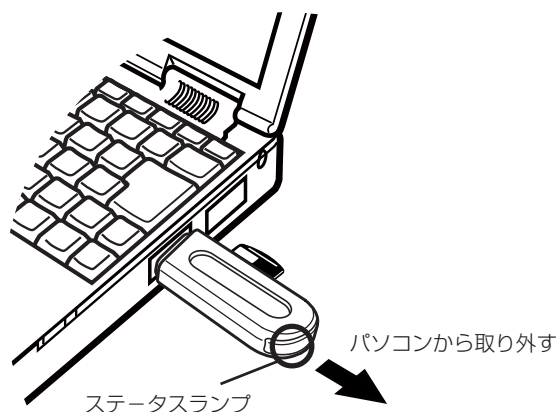
本機をパソコンから取り外す前に、カード内のデータを表示するソフトウェア（画像表示ソフトなど）を終了し、次の手順で操作してください。
本機の取り外しは、パソコンの電源が入ったままで行うことができます。（電源のOFF、再起動、スリープ状態にする必要はありません。）

1. カードのアイコンをゴミ箱に**ドラッグ＆ドロップ**します。

> **ドラッグ＆ドロップについて**
> マウスボタンでアイコンを選択したままマウスを移動させ（ドラッグ）、移動先、コピー先でマウスボタンを離す（ドロップ）ことをいいます。

2. ステータスランプが**点滅していない**ことを確認します。

3. 本機をパソコンのUSBポートから引き抜きます。

> **ご注意**
> - ステータスランプの点滅中にカードを引き出したり、本機をパソコンから引き抜くことは絶対にしないでください。カード内のデータやカードを破壊したり、パソコンが停止する恐れがあります。

4　カードを取り出します　＜Mac OS 9◆操作＞

カードを矢印方向に手で引き出します。

5　ファイルのコピー　＜Mac OS 9◆操作＞

1. パソコンのUSBポートに、カードを入れた本機を接続します。
   - ステータスランプが点灯し、デスクトップ上にカードのアイコンが表示されます。
   - カードのアイコンは、ご使用のカードやOSによって異なります。

2. カードのアイコンを**ダブルクリック**してコピー元のデータを表示します。
   - カード内のどこにデータが入っているかの確認方法については、データを記録した機器の取扱説明書などをご参照ください。

3. コピーしたいファイルをコピー先のフォルダに**ドラッグ＆ドロップ**してください。
   - ファイルを他のフォルダへ移動したり、削除したり、他のフォルダから書き込むこともできます。

コピー元のデータ

ドラッグ＆ドロップについて
マウスボタンでアイコンを選択したままマウスを移動させ（ドラッグ）、移動先、コピー先でマウスボタンを離す（ドロップ）ことをいいます。

6　フォーマットについて　＜Mac OS 9◆操作＞

ご注意

- **ご使用になるカードは、デジタルカメラ側で定期的にフォーマットを行ってください。パソコン側から本機内のカードのフォーマットを行った場合、デジタルカメラ側で認識されないことがあります。カメラ側でのフォーマット操作については、カメラの取扱説明書をご覧ください。**
  お使いのカメラ以外でフォーマットされたカードが、カメラ側で認識されない場合は、お使いのカメラで再度フォーマットしてください。(フォーマット形式がDOS以外となるカメラでフォーマットされたカードは、本機では認識できません。)

【フォーマットを行う前に】

- カードを再度フォーマットする場合は、カード内に必要なデータがないことを、必ず事前に確認する。**フォーマットを行なった場合、元のデータは使えなくなります。**

Mac OS X

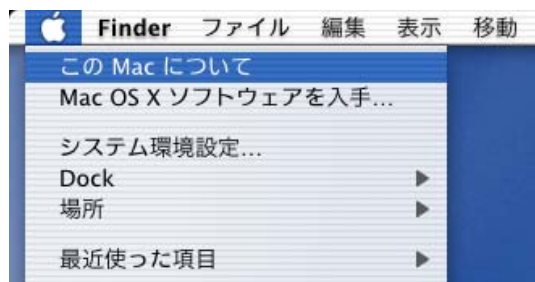
導入の手順

作業の際は必ずパソコンと周辺機器の取扱説明書もご参照ください。

1　パソコンの電源を入れます　<Mac OS X◆導入>

パソコン（およびモニタなど）の電源を入れて、Mac OS を起動します。

● ご使用のパソコンによって画面表示が異なる場合があります。

[Mac OS のバージョン確認方法]
アップルメニューから［この Mac について］を選択し、Mac OS バージョンを確認します。

操作方法

Mac OS X での操作方法は次の通りです。

1　カードを入れます　<Mac OS X◆操作>

本機にカードを入れます。
カードの接触面（金色）を**下**に向けて、カードをxD-ピクチャーカード挿入口に水平に奥までしっかり挿入します。

ご注意
- カードを挿入するときはカードの向きに注意してください。
- カードはxD-ピクチャーカード挿入口に水平になるよう正しく挿入してください。誤った角度で無理に押し込んだ場合、本機やカードを破損する恐れがあります。

2　パソコンと接続します　＜Mac OS X◆操作＞

パソコンのUSBポートと本機のUSBコネクタを接続します（パソコンを使用中でも接続することができます）。

ご注意

- パソコンと接続する前に、USB ポート周辺に十分な取り付けスペースがあることをご確認ください。
  無理に取り付けた場合、本機やUSBポートを破損する恐れがあります。
- コネクタの向きを間違えないように接続してください（下図参照）。誤った向きで無理に接続した場合、コネクタ、USBポートを破損する恐れがあります。
- コネクタは奥までしっかりと差し込んでください。

【ステータスランプについて】

ランプの点灯 ： 本機がパソコンに接続され、使用可能な状態。
ランプの点滅 ： カードにアクセス（読み書き）しているとき。
ランプの消灯 ： 本機にカードが入っていない場合、または、バージョンによってはカードのアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップした場合。
点灯後に消灯 ： カードが正しく認識されていないとき。

- ランプの点滅中にカードを引き出したり、本機を引き抜いたりすると、カード内のデータが破壊される恐れがあります。
- カードが正しく認識されない場合には、ランプが点灯しないか、点灯後に消灯します。このような場合には、カードを本機から引き出し、接触面（金色）を乾いた布で拭いた後、もう一度挿入してください。それでも認識されない場合は、カードが破損している可能性があります。

【カードが正しく認識されているとき】

カードが正しく挿入され本機がパソコンで認識されると、ステータスランプが点灯し、右のアイコンが表示されます。

- 表示されるカードアイコンの名称は、挿入するカードによって異なります。

3　パソコンから取り外します　＜Mac OS X◆操作＞

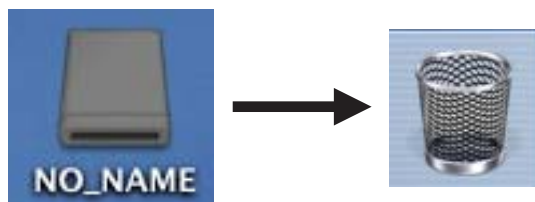
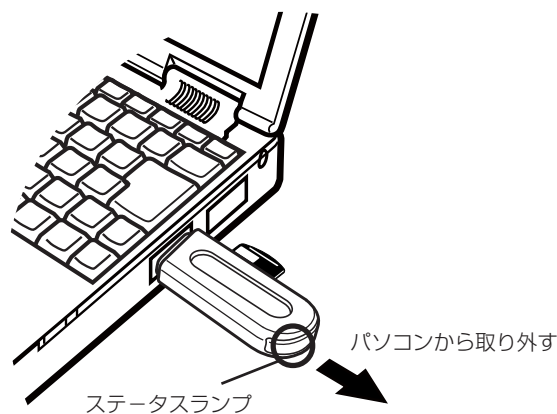
本機をパソコンから取り外す前に、カード内のデータを表示するソフトウェア（画像表示ソフトなど）を終了し、次の手順で操作してください。
本機の取り外しは、パソコンの電源が入ったままで行うことができます。（電源のOFF、再起動、スリープ状態にする必要はありません。）

1. カードのアイコンをゴミ箱に**ドラッグ＆ドロップ**します。

> **ドラッグ＆ドロップについて**
> マウスボタンでアイコンを選択したままマウスを移動させ（ドラッグ）、移動先、コピー先でマウスボタンを離す（ドロップ）ことをいいます。

2. ステータスランプが**点滅していない**ことを確認します。

3. 本機をパソコンのUSBポートから引き抜きます。

> **ご注意**
> - ステータスランプの点滅中にカードを引き出したり、本機をパソコンから引き抜くことは絶対にしないでください。カード内のデータやカードを破壊したり、パソコンが停止する恐れがあります。

4　カードを取り出します　＜Mac OS X◆操作＞

カードを矢印方向に手で引き出します。

5　ファイルのコピー　＜Mac OS X◆操作＞

1. パソコンのUSBポートに、カードを入れた本機を接続します。
   - ステータスランプが点灯し、デスクトップ上にカードのアイコンが表示されます。
   - カードのアイコンは、ご使用のカードやOSによって異なります。

2. カードのアイコンを**ダブルクリック**してコピー元のデータを表示します。
   - カード内のどこにデータが入っているかの確認方法については、データを記録した機器の取扱説明書などをご参照ください。

3. コピーしたいファイルをコピー先のフォルダに**ドラッグ＆ドロップ**してください。
   - ファイルを他のフォルダへ移動したり、削除したり、他のフォルダから書き込むこともできます。

コピー元のデータ

ドラッグ＆ドロップについて
マウスボタンでアイコンを選択したままマウスを移動させ（ドラッグ）、移動先、コピー先でマウスボタンを離す（ドロップ）ことをいいます。

6　フォーマットについて　＜Mac OS X◆操作＞

ご注意

- **ご使用になるカードは、デジタルカメラ側で定期的にフォーマットを行ってください。パソコン側から本機内のカードのフォーマットを行った場合、デジタルカメラ側で認識されないことがあります。カメラ側でのフォーマット操作については、カメラの取扱説明書をご覧ください。**
  お使いのカメラ以外でフォーマットされたカードが、カメラ側で認識されない場合は、お使いのカメラで再度フォーマットしてください。(フォーマット形式がDOS以外となるカメラでフォーマットされたカードは、本機では認識できません。)

【フォーマットを行う前に】

- カードを再度フォーマットする場合は、カード内に必要なデータがないことを、必ず事前に確認する。**フォーマットを行なった場合、元のデータは使えなくなります。**

Windows

	現　象	原　因	対　策	参照
1	ステータスランプが点灯しない。	本機がパソコンのUSBポートに正しく接続されていない。	本機の向き（表裏･上下）を確認し、パソコンのUSBポートにゆっくりと確実に差し込んでください。	8
		USBポートに十分な電流が確保されていない。	USBハブをご使用の場合は、パソコン本体のUSBポートに接続してください。	5
		カードが正しく挿入されていない。	カードの向き（表裏･上下）を確認し、ゆっくりと確実に挿入してください。	7
2	［マイコンピュータ］に［リムーバブルディスク］アイコンが表示されない。 ［デバイスマネージャ］に［!］や［?］マークが表示される。	本機のUSBコネクタがパソコンに正しく接続されていない。	USBコネクタをしっかりと奥まで差し込み、確実に接続してください。	8
		USBコントローラが無効に設定されている。（Windows 2000/XP/Vistaの場合）	［スタート］→［設定］(Windows 2000のみ)→［コントロールパネル］クリック→［システム］ダブルクリック→［ハードウェア］クリック→［デバイスマネージャ］クリックで［USBコントローラ」に表示されるコントローラの設定を変更してください。（コントローラ名に［×］が表示されていますので、右クリックして表示されるメニューから設定を［有効］にしてください。）	–
		BIOSの設定でUSBポートが使用不可に設定されている。	BIOSの設定でUSBポートを"Enable"にしてください。設定時はお使いのパソコンの取扱説明書を参照し、慎重に行なってください。	–
3	カードを認識しない。 ［ドライブにディスクを挿入してください。］と表示される。	カードが正しく挿入されていない。	カードの向き（表裏･上下）を確認し、ゆっくりと確実に挿入してください。	7
4	ステータスランプが点灯後に消灯する。	カードが正しく認識されていない。	本機をパソコンから取り外し、本体からカードを引き出し、カードの接触面（金色）を乾いた布で拭いた後、再度挿入してください。それでも認識されない場合は、カードが破損している可能性があります。	10
5	カードからの読み出しはできるが、カードに書き込みができない。	カードに異常が発生している。	カード内のデータを別の媒体に保存し、新しいカードを使用してください。	–

トラブルシューティング

Macintosh

	現　象	原　因	対　策	参照
1	ステータスランプが点灯しない。	本機がパソコンのUSBポートに正しく接続されていない。	本機の向き（表裏･上下）を確認し、パソコンのUSBポートにゆっくりと確実に差し込んでください。	13、17
		USBポートに十分な電流が確保されていない。	USBハブをご使用の場合は、パソコン本体のUSBポートに接続してください。	5
		カードが正しく挿入されていない。	カードの向き（表裏･上下）を確認し、ゆっくりと確実に挿入してください。	12、16
2	カードを挿入してもアイコンが表示されない。	カードが正しく挿入されていない。	カードの向き（表裏･上下）を確認し、ゆっくりと確実に挿入してください。	12、16
		［FileExchange］がインストールされていない。(Mac OS 9の場合)	DOS/Windowsフォーマットのカードをご使用いただくには、MacOS付属の［File Exchange］が必要です。 Appleメニューから［コントロールパネル］を選択し、［FileExchange］がインストールされているかを確認してください。 ［FileExchange］に関する詳細は、Mac OSヘルプを参照してください。	12
3	ステータスランプが点灯後に消灯する。	カードが正しく認識されていない。	本機をパソコンから取り外し、本体からカードを引き出し、カードの接触面（金色）を乾いた布で拭いた後、再度挿入してください。それでも認識されない場合は、カードが破損している可能性があります。	14、18
4	カードからの読み出しはできるが、カードに書き込みができない。	カードに異常が発生している。	カード内のデータを別の媒体に保存し、新しいカードを使用してください。	－

仕様

対応メディア	xD-ピクチャーカード	3.3V	16/32/64/128/256/512 MB/1GB/2GB
インターフェース			USB Ver.2.0 または Ver.1.1
動作電圧			5V（USBポートより供給）
消費電流			最大0.2A
動作温湿度範囲		温度	0℃～50℃
		湿度	20%～85%（ただし結露しないこと）
保存温度範囲			－25℃～60℃
外形寸法（縦x横x厚さ）		本体	76.9mm×24.2mm×10.0mm
重量		本体	約12g
		キャップ	約1.6g
対応パソコン			USBインターフェース（USB Ver.2.0 または Ver.1.1）を標準搭載したパソコン
対応OS			パソコンにプレインストールされた次のOS ・Windows 2000 Professional ・Windows XP ・Windows Vista ・Mac OS 9.0～9.2 ・Mac OS X (v10.1～10.4)

●仕様は予告なく変更する場合があります。
●最新の情報はオリンパスホームページ（http://www.olympus.co.jp/）をご覧ください。

基本用語の解説

用語	解説
アイコン	パソコン画面上に並んでいる個々のソフトや、ユーザーが作成したデータを示すのに利用される小さな絵記号のこと。ダブルクリックやクリックなどの簡単な操作でソフトを起動したり、ファイルやフォルダを開いたりすることができます。
インストール	ソフトウェアやドライバをパソコンの中に組み込んだり、パソコンの中で使えるように環境設定を行い、そのプログラム等が動作可能な状態にすること。 【参考】アンインストール：インストールしたソフトウェアをパソコンから削除すること。 プレインストール：パソコンを買った最初からソフトが組み込まれている（インストールされている）状態。
エクスプローラ	Windowsに標準で付属しているファイル管理ソフト。ファイルやフォルダの作成、移動、削除、コピーなどの操作ができます。パソコンに入っているドライブやファイル、フォルダは階層状に構成されていますが、エクスプローラではそれらを一つのウィンドウで表示します。
xD-ピクチャーカード（カード）	デジタルカメラで撮影した画像などを保存する超小型記録メディア。本機を使うことで、xD-ピクチャーカード中のデータをパソコンに転送したり、パソコンのデータをxD-ピクチャーカードにコピーすることができます。
タスクバー	Windowsで、現在起動中のソフトウェアやファイルをボタンで一覧表示する機能。通常、デスクトップ画面の下段にバーで表示されます。タスクバー上のボタンをクリックすることで、瞬時に一番上に表示したい画面の切り替えができます。 プログラムの起動などが行なえる［スタート］ボタンや時計などの機能が含まれます。
デバイスドライバ（ドライバ）	パソコンの周辺機器（プリンタ、モデム、デジタルカメラ、USBメモリアダプタなど）の動作を管理・制御するためのプログラム。周辺機器を接続するだけではパソコンが認識せず、正しく動作しない場合には、デバイスドライバをインストールする作業が必要となります。
ドラッグ&ドロップ	画面上で項目を移動するための操作。マウスボタンでアイコンを選択したままマウスを移動させて（ドラッグ）、移動先やコピー先でマウスボタンを離します（ドロップ）。
ファイル	画像や、文字データが集まった文章等、あるまとまったデータ構造体のこと。
フォルダ	ファイルをまとめて入れる場所。ファイルを本に例えると、その本を収納するための本棚にあたるのがフォルダ。フォルダの中にフォルダを作るとさらに深い階層でのデータの分類ができます。
フォーマット	ハードディスクやフロッピーディスクなどの記憶媒体に対して、データを書き込む書式を決めること。既に決めた書式を元に戻したり、別の書式に変更することから初期化とも言います。デジタルカメラでは、xD-ピクチャーカードなどの記録メディアを読み書きできる状態にすることを指します。また、OSによって書式が異なることや、フォーマットを行うと、元のデータが消去されてしまうので注意が必要です。
ホットプラグ	USBの規格に含まれる機能で、電源を入れた状態で本機などのUSB機器を抜き差しして使えることをいいます。

基本用語の解説

USB (Universal Serial Bus の略)	パソコンと周辺機器（モデム、プリンタ、デジタルカメラなど）をつなぐインターフェースのひとつ。最近では、使い勝手の良さなどから多くの機器にUSB端子が装備されています。
USB 2.0 (Hi-Speed USB 2.0)	従来のUSB 1.1での転送速度に比べ、約40倍も速度がアップしている高速インターフェースです。もちろん、従来のUSB（USB 1.1）にも接続できます。
USB バスパワー	USBでは、ケーブルを介して電源を供給できます。この電源をバスパワーと呼びます。 本機はこの電源を使って動作させています。
USB マスストレージクラス	USB機器をパソコンに接続した場合、外部機器がパソコン側からフロッピーディスクやハードディスクと同様にドライブとして認識されることをいいます。USBの仕様においてUSB Implementers Forumにより定義されることになっています。
リムーバブルディスク	取り外しが可能（リムーバブル）なデータディスク全般のこと。パソコンに内蔵されたハードディスク（固定ディスク）に対してこう呼ばれます。リムーバブルディスクにはCD-ROM、フロッピーディスク、MOディスク（光磁気ディスク）などがあります。本機に入れたxD-ピクチャーカード（カード）もリムーバブルディスクとなります。